

- 新しい視点から歴史を学びたい！
- 最新の研究が知りたい！
- 大学の教室で学んでみたい！

1つでも当てはまったあなた
にオススメの講座です！

受講無料

「金・銀・銅」から読みとく 歴史世界



第1回
11/16(土)
10:30~12:00

テーマ
近世の日本銅をめぐる

たかはし ひろふみ
講師：高橋裕史 先生
(帝京大学総合博物館館長・経済学部経営学科教授)

輸出された日本の銅は、
どこに運ばれ何に使わ
れたのか？



第2回
11/30(土)
10:30~12:00

テーマ
遺跡から探る金鉱石の採掘と製錬

くしはら こういち
講師：櫛原功一 先生
(帝京大学文化財研究所准教授)

金山史研究の
課題とは!?



第3回
12/07(土)
10:30~12:00

テーマ
地下資源とアメリカ合衆国
—アメリカン・ドリームの幻想と現実—

いしかわ たかふみ
講師：石川敬史 先生
(帝京大学文学部史学科教授)

アメリカ合衆国の鉱脈



第4回
12/21(土)
10:30~12:00

テーマ
中央アジアにおける7~11世紀の
銅貨・銀貨に使用された材料の特徴と流通

ふじさわ あきら
講師：藤澤明 先生
(帝京大学文化財研究所教授・文化財科学研究センター長)

7世紀~11世紀の中央アジア
のコインの特徴とは!?



1回のみ受講や回をまたがっての受講も可能です。お気軽にご参加ください。

会場：帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア地下1階S011教室
※12月7日(土)のみS013教室

定員：各回200名(先着順)
申込み方法：ホームページ、QRコード、電話、FAX
締切日：各講座開催の前日まで受付
主催：帝京大学総合博物館

※昨年度講座待望の書籍化(11/05発売)
『「海」から読みとく歴史世界』(帝京選書)
を初回会場にて特別販売いたします!



お問い合わせ TEL:042-678-3675 FAX:042-690-8231
ホームページ <https://teikyo.jp/museum/>

帝京大学総合博物館 TUM
Teikyo University Museum

お申込はこちら

「金・銀・銅」から読みとく歴史世界 セミナー概要

帝京大学総合博物館は、ミュージアムセミナーとして「大学でまなぶ日本の歴史」という講座を催し、これは2022年に終了いたしました。そこで昨年より、特定のテーマを設定し、それにまつわる歴史を探访する新しいシリーズを開催することにしました。今年度のテーマは“「金・銀・銅」から読みとく歴史世界”です。古今東西、金・銀・銅は歴史の「名脇役」として人類社会の歴史に大きな役割を果たしてきました。そうした名脇役の活躍の舞台を、4回の講座を通して鑑賞してみませんか。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

※1回のみ受講や回をまたがっての受講も可能です。

第1回 近世の日本銅をめぐる ポルトガルとオランダ

日本が良質の銅に恵まれていたことは、奈良東大寺の大仏や鎌倉高德院の大仏が雄弁に語っているところです。その日本の銅を求めたのがポルトガルであり、オランダでした。この両国は「なぜ」日本の銅を求め、また輸出された日本の銅は「どこ」に運ばれ「なに」に使われたのでしょうか。日本の銅の数奇な運命を欧文学資料をベースにお話します。

講師：高橋裕史 先生
(帝京大学総合博物館館長、経済学部経営学科教授)



第2回 遺跡から探る金鉱石の採掘と製錬

日本列島ではいつから、どのようにして金が採掘され、製錬されたのでしょうか。「武田の隠し金山」ともいわれる黒川金山、中山金山遺跡の発掘調査は、山中での金山開発や金の製錬過程を解明しました。また金粒付着土器の存在は、都市部で金の製錬が行われた事実も明らかにしています。本学ゆかりの今村啓爾先生、萩谷三雄先生の業績を振り返りつつ、金山史研究の課題についてお話しします。

講師：榊原功一 先生
(帝京大学文化財研究所准教授)



第3回 地下資源とアメリカ合衆国 —アメリカン・ドリームの幻想と現実—

アメリカ大陸にヨーロッパ人が移住した動機が金や銀、そして銅といった鉱物資源にあったことはよく知られています。しかし、北アメリカ大陸に誕生したアメリカ合衆国に関しては、鉱物資源への幻想が後に資本主義、映画産業、ディズニーランドといった「鉱脈」を生み出したことが重要です。さらにこの幻想はアメリカ合衆国を世界最大の産油国の一つにもしました。その歴史的背景を読み解きます。

講師：石川敬史 先生
(帝京大学文学部史学科教授)



第4回 中央アジアにおける7～11世紀の 銅貨・銀貨に使用された材料の特徴と流通

帝京大学はキルギス共和国に位置するアク・ベシム遺跡の発掘調査を実施しています。この遺跡では、多くの種類の銅貨が発見されており、当時の国際都市としての特徴を示しています。また周辺地域で発行された銀貨についても比較調査をしています。これらの銅貨・銀貨の材料的な特徴やその流通についてお話しします。

講師：藤澤明 先生
(帝京大学文化財研究所教授、文化財科学研究センター長)



FAXにてお申し込みの方は下記に必要事項をご記入の上、本チラシをそのままFAX：042-690-8231までお送りください。

FAX用 「金・銀・銅」から読みとく歴史世界 申込書 ※参加希望のセミナーを☑チェックしてください。

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 第1回〔11月16日(土)〕
近世の日本銅をめぐる
ポルトガルとオランダ | <input type="checkbox"/> 第2回〔11月30日(土)〕
遺跡から探る金鉱石の採掘と製錬 | <input type="checkbox"/> 第3回〔12月7日(土)〕
地下資源とアメリカ合衆国
—アメリカン・ドリームの幻想と現実— | <input type="checkbox"/> 第4回〔12月21日(土)〕
中央アジアにおける7～11世紀の
銅貨・銀貨に使用された材料の
特徴と流通 |
|---|--|--|--|

お名前 フリガナ() 電話()

ご住所 〒

交通アクセス

新宿駅	京王線 28分	聖蹟桜ヶ丘駅	京王バス 約17分	八王子キャンパス
	京王線 31分	高幡不動駅	京王バス 約18分	
調布駅	京王相模原線 12分	多摩センター駅	京王バス 約13分	
新百合ヶ丘駅	小田急多摩線 12分	大塚・帝京大学駅	徒歩 約15分	
立川南駅	多摩モノレール 19分			

※大学構内に来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※車イスでご来館予定の方は事前にご連絡ください。

